

平成18年11月22日

各位

会社名 日本製麻株式会社
代表者名 取締役社長 中本 広太郎
(コード番号3306 東証第2部)
問合せ先 取締役経理部長 池田 明穂
(TEL. 078 - 332 - 8251)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年5月26日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 19年3月期中間個別業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月26日発表)	2,760	57	45
今回修正予想(B)	2,842	43	28
増減額(B-A)	82	14	17
増減率	3.0%	24.6%	37.8%
前期(平成18年3月期中間)実績	2,971	41	398

2. 19年3月期連結中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月26日発表)	3,260	115	69
今回修正予想(B)	3,672	113	55
増減額(B-A)	412	2	14
増減率	12.6%	1.7%	20.3%
前期(平成18年3月期中間)実績	3,450	115	371

3. 理由

修正の主なものは、以下のとおりであります。

(1) 中間個別業績予想の修正理由

当中間期における当期純利益は期初予想に比べ17百万円の減益となりました。

主な理由といたしましては、当中間期における売上高は、産業資材事業部の合繊原料の輸出が大幅に増加となり、マット事業部では自動車用フロアマットおよびゴルフ用マットの需要が回復したことなどで計画を上回りましたが、収益面への影響は原油高による全体の費用の増加となり、食品事業部では輸入品が期初よりのユーロ高の影響を受け収益を圧迫すると共に、期末日での為替換算により為替差損が発生し、減益となりました。

(2) 中間連結業績予想の修正理由

当中間期における売上高は期初予想に比べ 412 百万円の増収となりました。

主な理由といたしましては、産業資材事業において合繊原料の輸出が大幅に増加となると共に、マット事業においても自動車用フロアマットの中東諸国向けの売上が増加したことなどにより計画を上回りましたが、収益につきましては個別での業績の影響を受け減益となりました。

(3) 平成 19 年 3 月期個別・連結通期業績見込みについて

通期の業績予想については、中間決算発表(平成 18 年 11 月 24 日予定)時に公表する予定です。

以 上